

市民タイムス

生徒会役員が意見交換

松本で中信18高校の70人

中信地区の高校の生徒会役員が一堂に集う交流会が19日、松本市中央公民館で開かれた。北安曇郡白馬村から南木曾町まで18の高校の生徒約70人が、よりよい学校づくりについて意見を交わし、交流を深めた。

生徒たちの携帯端末の利用状況やルール策定についての研究発表が行われたほか、生徒会活動や文化祭など六つのテーマに分かれて意見交流会も開かれた。地域交流・外部PR方法についてのテ

(第3種郵便物認可)

さまざまなテーマについて活発に意見を交わす各校の生徒会役員たち



マでは、地域清掃や物品販売、地域の児童館に通う子供たちに勉強を教える活動、動画サイトの活用などの例が

挙がった。蘇南高校の生徒会副会長・小林有咲さん(16) || 2年 || は「各校で多彩な活動があり、よい経験になった。本年度中に、阿部守一知事を招いて各校の生徒会役員たちと懇談する交流会の開催も検討している。事務局を務める松本県ヶ丘高校の生徒会長・藤田達也君(16) || 2年 || は「他校の生徒会から学び合い、それぞれの生徒会運営に役立てられれば」と話していた。(小岩井貴之)